

## 春秋座美術館

皆さんもうお気づきのこととは思いますが、劇場内には絵や彫刻など、美術作品が置かれています。すべて、この京都造形芸術大学の教員や学生の制作した、縁のある作品です。開館当初はまだ展示されていなかったこれらの作品を、少しずつ紹介していきたいと思ひます。



### 菅原健彦「雪中梅」

第1回は、ハワイエに入って右手、時計のある壁の上の特等席に飾られている作品「雪中梅」。

美術・工芸学科日本画コース専任講師、菅原健彦先生作の墨を用いた縦2メートル・横5メートルの大作です。山梨で住んでいた家の隣は梅畑で、梅干になる小さな小梅がなっていました。冬、その樹々に、霧と雪が重なって、えも言われぬ光景が広がっていたそうです。



#### 作家プロフィール

1962年 東京生まれ  
1989年 多摩美術大学絵画科日本画専攻卒業

個展 ●2003年6月5日(木)～15日(日)  
山梨県甲府市 asahigallery  
TEL 055-227-7611  
●2003年7月1日(火)～  
東京銀座 ギャラリー イセヨシ  
TEL 03-3571-8388



## 会員の声

### 2003年2月8日《友の会懇親会》

第一部では友の会会員の皆さんを舞台上から奈落(舞台の下)・花道・音響室などご案内する春秋座ツアー、第二部では楽屋にて春秋座スタッフとの懇親会を行いました。もう3ヵ月たってしまいましたが、以下はそのアンケートから友の会会員の声をご紹介します。

★ 舞台の大きさに驚いた。奈落の底に入れるなんて感激!

会員番号28-000-15

★ 懇親会って?と思い、まあ参加してみようかと軽い気持ちで出席させていただいたのですが、劇場の中を事細かに案内して頂き廻り舞台、せりも体験させて頂き、速い昔娘の舞の会に一生懸命だった頃の記憶も新たに致しました。このすばらしい劇場で観て頂けるとは何と有難い嬉しいことと存じます。勝手なお願いですが、観劇にお代金を支払う物は全て、座席指定にして頂けたらありがたいと思ひます。

会員番号28-000-039

★ 名札まで用意していただきありがとうございました。せっかく近くに住んでいますので、友達と誘い合っ、月1回は、「春秋座」に出かけて、リフレッシュしていこうと思ひました。これからも、どうぞ皆様楽しませて下さい。

会員番号28-000-033

★ 舞台の裏側を見せていただき、演者の大変さを少し理解出来たと思ひます。

会員番号28-000-052

★ スタッフの人が、目標を持って働いているのに感心しました。自己紹介があれば良かった。

会員番号28-000-029

【編】自己紹介、うっかり抜かしてしまいましたね。ごめんなさい! さあ、こんどはいつ、実現できますかしたら、第2回懇親会。

### 編集後記

春秋座が誕生して3回目、友の会が発足して2回目の春です。更新手続きをして下さった皆様、ありがとうございます。今年も劇場でお待ちしています。この5月、劇場事務所が引越しました。変わりつつある春秋座です。人も髪型や身に着ける色を変えたいくなる季節。皆さんは何か新しいこと始めていらっしゃいますか?

#### 編集

京都芸術劇場 デザイン  
企画運営室 福井瑞穂  
ディレクション 発行月  
西川真由実 2003年5月

京都芸術劇場春秋座友の会季刊誌

# 春秋

## KOYOMI

SINCE 2002 AUGUST

第4号 2003年5.6.7月

あのヒット映画が、一人芝居として春秋座に登場。  
映画では語り尽くせなかったストーリーが、ここにあります。

特集

## 海の上のピアニスト

2003年7月13日(日) 16:00 開演

原作/アレッサンドロ・バリッコ 翻訳/草野伸子  
演出/青井陽治

主演 市村正親

作曲・ピアノ演奏 稲本 響

撮影/稲越功一



京都芸術劇場  
春秋座



# 海の上のピアニスト 7月13日(日) 16:00開演

映画でご覧になった方も多いと思いますが、「海の上のピアニスト」は、もともと一人芝居の戯曲として書かれたものです。原作者はアレサンドロ・バリッコ。本国イタリアでは、200回以上も上演され、伝説の舞台と言われています。舞台俳優・市村正親の熱演と、ピアニスト・稲本響によるオリジナル楽曲で、一人のピアニストの生涯が語られます。

## ♪あらすじ♪

海の上で生まれ、海の上で終わりを迎えた一人の男。彼の名はダニー・ブードマン・T・D・レモン・ノヴェチェント。豪華客船のピアノの上に捨てられていた彼は、いつしか「この世のものではない音楽を弾く」といわれる天才ピアニストとなった。限らない才能を持ちながらも、船を降りなかったピアニストの生涯。彼の魂と音楽、そして最期の言葉は親友のトランベッターの記憶に鮮烈に宿っていた…。



## ～楽しみ、楽しませる舞台人・市村正親～

舞台芸術学科3回生 三浦有紀



市村正親さんが春秋座に来る！！『海の上のピアニスト』の公演ポスターを春秋座舞台事務所で見た時、まさか春秋座での公演だなんて思ってもみなかった。(失礼！)よくよく見てみるとポスターに“春秋座”の文字がある。「これ春秋座でやるんですか！？」と事務所の方に何度も確認してしまった。市村さんが春秋座にくる！！それはもう夢のような出来事で、その日からずっと胸は高鳴りっぱなしだ。だが、浮かれついでにこの文章の執筆を引き受けてしまい、とても困ってしまった。市村さんの魅力をどうやって文章にすればよいのか。とにかく、ただのファンレターになってしまわないように、私の市村さんへの想いが伝わればと願うばかりだ。

市村さんは今年で舞台人生三十周年を迎える。そして演じる役の幅がとても広い。ミュージカルからストレートプレイ、悲劇に喜劇とあらゆる舞台に出演し『オペラ座の怪人』のファントムにハムレット、同性愛者、そして果てはスノーピーまで様々な役を演じている。けれども私が観た市村さんはほんの一握りではない。舞台上の市村さんとの初めての出会いは『ART』という作品だった。幕が開くと真っ白な舞台の真ん中に黒い服に身を包んだ市村さんが佇んでいた。立っているだけなのに凄く絵になる。オールバックの髪型に眉間の皺、クールな役柄だった所為もあって渋くてなんて格好良いのだろうと思った。そう、市村さんは一見、とても渋いのだ。真っ黒なスーツはもちろん燕尾服なんかとても似合っちゃう男前。でも渋いだけが市村さんではない。市村さんの最大の魅力は可愛らしさだと思う。作品にもよるけれど、その可愛らしさが最も発揮されるのはコメディである。舞台上の市村さんの瞳は常にキラキラしている。新しい遊びを思いついた少年のように、楽しくて仕方ない、という顔をしているのだ。凄く無邪気な顔で笑い、その瞳から顔から身体中からエネルギーが溢れ出ているのだ。客席でそのエネルギーを浴びた私も、嬉しくて楽しくて仕方がなくなってしまう。市村さんは全力で舞台を楽しもうとし、そして全力で観客を楽しませようとするのだ。幕が開いた瞬間から幕が下りる最後の最後まで決して目が離せない。カーテンコールだって見ものである。満面の笑みを浮かべてバイバイをする市村さんを観る度、私はとてつもなく幸せになれる。だから市村さんの舞台は安心して身を委ねられるのだ。決して期待を裏切らず、期待以上の可愛らしさで観客を魅了してしまう。それが市村正親さんの魅力なのである。

『海の上のピアニスト』でもたくさんのエネルギーを市村さんから受け取りたい。物語中の渋い市村さんに期待。そしてカーテンコールでの可愛らしい市村さんにも大いに期待！！

撮影/稲越功一

## 公演スケジュールピックアップ

### ◎狂言・歌舞伎

5月29日(木) (1)13:00開演 (2)16:00開演(1日2回公演)・30日(金) 13:00開演 チケット発売中

### 舞芸芸術センター上演実験シリーズvol.9 「ふたつの茶壺～狂言と歌舞伎 舞踊の競演」

酒に酔いつぶれ、道で眠り込んでいた田舎男が目覚めると、背に負った大切な茶壺を自分のものだという男がもう一人。大あわてで目代(代官)を呼ぶ。茶の由緒を問われ、舞での詮議が始まり、ずっぱ(騙り者)は田舎男の舞を必死に真似し、ついていく。いったい茶壺は誰の手に…。 大人気の狂言師 茂山千之丞と踊りの名手 坂東三津五郎が魅せるふたつの茶壺。楽しい舞台をダブルで見比べられるまたとない舞台です。是非御覧ください。

一般前売5,000円(当日5,500円) 学生3,000円(当日3,500円) 会員前売4,500円



### ◎能・狂言・日本舞踊

5月31日(土) 15:00開演 チケット発売中

### 来洛座 皐月の巻 元暦元年三月十八日 源平の風

テーマは源平の合戦。中でも有名な屋島の合戦を、能・狂言・日本舞踊の若手実力者が語り、演じ、舞う舞台。狂言師 茂山逸平による「那須須」、同じく茂山千三郎の「二度矢」、舞踊家 尾上青楓による「景清鑑引」、「能登殿最期」能楽師 橋本光史による「屋島の語」、能楽師 片山伸吾による「義経の語」…と、元暦元年3月18日その日を、源氏・平家双方がどう見、どう感じたのか、一つの舞台に勝敗だけではないドラマが展開します。

A席7,700円(会員前売7,000円) B席4,500円(会員前売4,000円)



### ◎芝居

7月13日(日) 16:00開演 チケット発売中

### 海の上のピアニスト

大ヒット映画、「海の上のピアニスト」が、一人芝居として春秋座に登場です。主演は今年、舞台人生三十周年を迎えるという、市村正親。渋い役からコメディまでこなすベテラン俳優である彼が、表現豊かに語ります。そしてピアニストの生涯を物語る、ピアノの旋律。その楽曲は、ピアニスト稲本響の作曲・演奏によるオリジナル。市村正親はこの舞台で、2002年度芸術選奨 文部科学大臣賞を受賞しました。映画では語り尽くせなかったストーリーが、ここにあります。

1階7,500円(会員前売7,000円) 2階5,500円(会員前売5,000円)



### ◎ミュージカル

9月13日(土) 13:00開演 \*6/13日前売開始

### 人魚姫～ちいさなおんがくげき～

昨年9月に「こころのふるさとふれあいコンサート」で好評を博しました二人のミュージシャンによるアンデルセンの童話をもとにした小さな音楽劇。子どもにしか分からない人魚姫への憧れ、大人になって初めて分かる物語のテーマ。透明感ある歌声で綴られる世界。ぜひ親子で御覧いただきたい作品です。

歌：加来陽子 ギター：西野雅人

一般1,500円(会員前売1,000円) 学生800円 小学生以下無料



### ◎人形浄瑠璃

10月19日(日) (1)昼の部13:30開演 (2)夜の部17:00開演 \*7/7前売開始

### 人形浄瑠璃 文楽 京都公演 「絵本太功記」「釣女」「伽羅千代萩」

文楽を観ていると、生身の人間が舞う歌舞伎よりもっとリアルに見えてくる時があります。それはきっと、大夫と三味線、そして人形遣いという三者の情がひとつに凝集されて生まれる瞬間。演目は、三世桐竹勘十郎襲名披露狂言『絵本太功記』から〈夕顔榎の段〉、〈尼ヶ崎の段〉ほか。昼・夜とも、大夫・三味線・人形遣いによる解説がございます。

出演：豊竹嶋大夫、竹澤団七、吉田襄助ほか

一般5,000円(会員前売4,500円) 学生1,500円(当日指定)



### ◎バレエ

10月29日(水) 18:00開演 \*7/29前売開始

### 国立サンクトペテルブルク・アカデミー・バレエ 「白鳥の湖」全幕

名門ワガノワ・バレエ・アカデミーの卒業生も多く、ロシアのみならず世界中で愛されるサンクトペテルブルク・アカデミー・バレエが「白鳥の湖」全幕を。初演から120年を経てなお、世界各地で上演続けられる「白鳥の湖」ですが日本の古都・京都で、そして春秋座という空間をどう活かして上演されるのか、ご期待ください。

1階8,000円 2階6,000円(会員前売1階7,200円 2階5,400円)



## チケット購入方法

### チケット購入場所変更のお知らせ

5月15日より、劇場企画運営室の場所が変わります。これまでのNA312(京都造形芸術大学 人間館A棟3F)から、二つ隣のNA314に引越しました。少くも奥まった場所になってしまいましたが、これまで通りの経路でお越しいただけます。お電話でのご予約も変わらず承ります。が、その際必ず会員番号をお知らせください。ご入金は、窓口か、もしくは郵便局からの口座振替となります。

### 京都造形芸大生の保護者の方々へ

昨年度、特別会員として春秋座情報をお送りしてまいりました保護者の皆様へ、この5月、友の会入会のご案内をさせていただき、多数ご入会頂きました。在学生の保護者の方々には総務課を通じての奮山会割引もご利用いただいております。金額的にはこちらのほうがお得です。友の会会員として、(1)お電話で座席が選べる、(2)お申込みいただくとすぐにチケットがお手元に届く(3)入手困難なチケットも優先的に予約できる…などのメリットがございますので、どうぞご利用くださいませ。

京都芸術劇場企画運営室 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 TEL 075-791-8240 FAX 075-791-9438



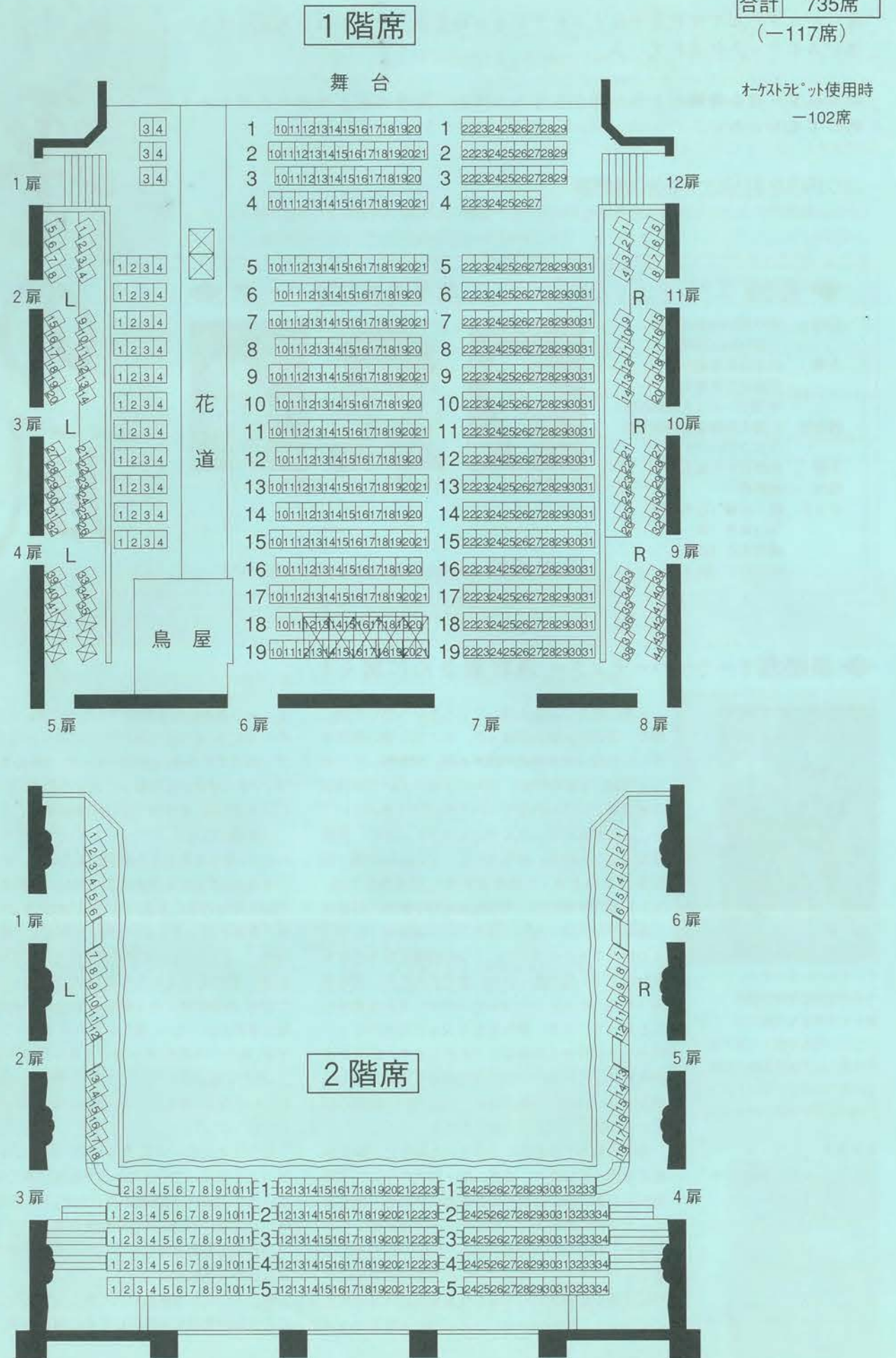
# 春秋座

2003年5月～10月公演予定表

日	催し物	時間	内容	問合せ先	チケット発売 ( )内は会員前売料金
◇5月					
5/29	木 舞台芸術研究センター 上演実験シリーズvol. 9 『ふたつの茶壺 ～狂言と歌舞伎舞踊の競演』	13:00開演 16:00開演	○トークショー「茶壺と茶壺」 茂山千之丞・坂東三津五郎 聞き手:わかぎえふ(29日) 田口 章子(30日) ○狂言「茶壺」 茂山千之丞・茂山あきら・丸石やすし ○歌舞伎舞踊「茶壺」 坂東三津五郎・中村飯省・片岡愛之助	京都造形芸術大学 劇場企画運営室	発売中 前売 一般5,000円(4,500円) 学生3,000円 当日 一般5,500円 学生3,500円 全席指定
5/30	金	13:00開演			
5/31	土 来洛座 皐月の巻 元暦元年三月十八日 源平の風	15:00 開演	監修:片山慶次郎 脚本:川島朋子 出演:尾上青楓・片山伸吾・茂山逸平 茂山千三郎・橋本光史 ほか	京都造形芸術大学 劇場企画運営室	発売中 A席 7,700円(7,000円) B席 4,500円(4,000円) 造形大生席 1,500円 全席指定
◇6月					
6/20	金 teuto 第二回公演 「アドア」	18:00開演	京都造形芸術大学の学生による自主企画公演。人間(身体)と言葉の関係性を重視し、それらを空間の中でどのように表現するかを追及していく劇団「teuto」。第2回の公演は夢や記憶の中にある漠然とした「死」、そんなわれわれの中にある「死」というものを「言葉」にした作品を上演します。	teuto 宮本 090-8212-1719	発売中 前売 一般1,000円 学生800円 当日 一般1,200円 学生1,000円 中高生以下 500円
6/21	土	14:00開演 18:00開演			
◇7月					
7/13	日 海の上のピアニスト	16:00 開演	大ヒットした映画「海の上のピアニスト」の原作は、イタリアでは伝説の舞台といわれる一人芝居の戯曲。 出演:市村正親 作曲:ピアノ演奏:稲本響	京都造形芸術大学 劇場企画運営室	発売中 1階 7,500円(7,000円) 2階 5,500円(5,000円) 造形大生席は完売しました。 全席指定
7/26	土 響きeyeコンサート	14:00 開演	京都造形芸術大学和太鼓研究センター登録者・チーム発表会、和太鼓教室終了発表会	和太鼓研究センター 075-791-9145	未定
◇8月					
8/24	日 有馬龍子バレエ団 「ジゼル」全幕	14:00開演 18:00開演	1841年、パリ・オペラ座バレエ団において初演されたロマンチックバレエの代表作「ジゼル」。オペラ座バレエ団と長年交流を続けてきた有馬龍子バレエ団が初演に近い形で上演したい!と春秋座での公演に至りました。オペラ座より指導者を招いての公演です。	有馬龍子バレエ団 TEL/075-701-6026 E-mail/arima.b@fancy.com.ne.jp 京都バレエ専門学校 TEL/075-463-0997	6月2日前売開始 A席(指定席)5,000円 B席(自由席)4,000円
8/26	火 第2回 亀治郎の会	14:00開演	1.義太夫 狸々 2.長唄 藤娘 3.清元 隅田川(演出:市川亀治郎) 特別出演:竹本綱太夫 片岡秀太郎	亀治郎の会 TEL/03-3724-5083	5月30日前売開始 S席 10,000円(9,000円) A席 8,000円(7,200円) B席 5,000円(4,500円) 造形大生席 1,500円 (他大学生 3,000円) 全席指定
8/27	水	11:00開演			
◇9月					
9/4	木 歌・舞・劇「OKUNI」	19:00開演	京都を盛り上げよう!と始まった、「にっぽんと遊ぼう」シリーズ10回目。歌舞伎誕生400年の今年は、出雲阿国にはじまる「かぶき者」の世界を、五感に響く音楽を中心として、踊りと芝居で御覧頂きます。 出演:市川右近 市川笑也 市川猿弥 市川段治郎 市川弘太郎 二十一世紀歌舞伎組 ほか	京都造形芸術大学 劇場企画運営室	6月2日前売開始 一般 8,000円(7,200円)
9/5	金				
9/6	土	14:00開演			
9/13	土 人魚姫 ～ちいさなおんがくげき～	13:00 開演	昨年9月に「こころのふるさとふれあいコンサート」で好評を得た二人のミュージシャンによるアンデルセンの童話をもとにした小さな音楽劇。 歌:加来陽子 キター:西野雅人	京都造形芸術大学 劇場企画運営室	6月13日前売開始 一般 1,500円(1,000円) 学生 800円 小学生以下 無料 (3歳未満は入場できません) 全席自由席
9/20	土 「羊の歌」 一過去と向きあい、 あしたを見晴らす	15:00 開演	2003年は未年。「羊の歌」の著者・加藤周一の講演と対話を通じて、日本と世界の来し方を振り返り、この先何が問題なのか、われわれはどうすればいいのを探ります。	京都造形芸術大学 劇場企画運営室	有料 (詳細未定)
◇10月					
10/19	日 人形浄瑠璃文楽 京都公演 昼の部「絵本太功記」「釣女」 夜の部「伽羅千代萩」	13:30開演 17:30開演	①昼の部:「絵本太功記」 夕顔橋の段・尼ヶ崎の段 「釣女」 ②夜の部:「伽羅千代萩」 竹の間の段・御殿の段 ※昼夜ともあらすじ及び解説つき。	京都造形芸術大学 劇場企画運営室	7月7日前売開始 一般 5,000円(4,500円) 学生 1,500円(当日指定) 7/4(金)のみ 友の会先行予約致します。 全席指定
10/29	水 国立サンクトペテルブルク・ アカデミー・バレエ	18:00開演	ロシア気鋭のバレエ団、国立サンクトペテルブルク・アカデミー・バレエによる「白鳥の湖」を全幕上演。	京都造形芸術大学 劇場企画運営室	7月29日前売開始 1階 8,000円(7,200円) 2階 6,000円(5,400円) 造形大生席 2,000円 7/28(月)のみ 友の会先行予約致します。 全席指定

# 京都芸術劇場(春秋座)座席表

花道使用時	
1階	531席
2階	204席
合計	735席
	(-117席)





風光明媚な屋島を背景に、源平の合戦を忠実に限りなく近く再現。勝敗だけでは語れないドラマの数々。そんな沢山のエピソードを、能・狂言・日本舞踊のコラボレーションでお見せします。

違ったスタイルで現代まで伝えられている古典芸能。それらの根底には限りなく近いスピリットが流れている。

能・狂言・日本舞踊が1つの舞台を作り上げる「源平の風」でそのスピリットを感じてもらいたい。

2003年5月31日(土) 午後3時開演

チケット発売中 A席7,700円(会員前売7,000円) B席4,500円(会員前売4,000円)

◆ 来洛座 皐月の巻 元暦元年三月十八日 源平の風プロローグ ◆

日時 2003年5月22日(木)  
午後5時45分開始  
会場 京都造形芸術大学  
芸術文化情報センター  
「映像ホール(人間館B1F)」  
問合せ 京都芸術劇場企画運営室  
TEL075-791-8240  
主催 京都造形芸術大学  
協力 花習塾  
ゲスト 尾上青楓(日本舞踊)  
片山伸吾(能)  
橋本光史(能)  
川島朋子(脚本)



尾上青楓



片山伸吾



橋本光史

入場無料 劇場企画運営室にて整理券を配付中!

# 源平の風

◆ 来洛座 皐月の巻  
元暦元年三月十八日

◆ 来洛座 オーナーバーテンダー 浅野徹さんに聞く!



浅野 徹  
「源平の風」主催の来洛座のオーナーバーテンダー。今回の公演は伝統芸能を愛する浅野さんの思いが形になったものとも言える。来洛座という伝統芸能の関係者が集うBAR、そこで生まれたのが「源平の風」なのです。

来洛座ホームページ  
<http://www.rairakuza.com>

伝統芸能をこよなく愛しているという思いが店に移り、店の思いが人に移った。そこから皆の気持ち一つになって今回の「源平の風」が実現したんでしょうね。私の中では、バーテンダーという職業と伝統芸能というものをオーバーラップできるというところに強みがあったのではないのでしょうか。歌舞伎ならシン・ワキ、能ならシテ・ツレという風に舞台を見ていても1つのカクテルに見えたりする。シン、ようするにベースになる材料があり、副材料であるワキがあったり、舞台という器があったり。1つのカクテルグラスに、1つの酒場に見えたりするわけです。色であったり、音であったり、会話であったり、そういう1つのものの中に文化を見出したと思っています。舞台を見ることにはそれをオーバーラップさせる素晴らしさがあります。自分たちが洋モノを追いかけていたにも関わらず何百年も伝統をもった日本の古典芸能と、われわれの酒場が似ているという所に大変共感を持ちました。

今回の舞台では昔からあるものと新作との両方が混ざり合っています。また、能・狂言の中に日本舞踊が入りました。それも琵琶の音にあわせて踊ります。カクテルで言えばスタンダードの中に新しく副材料を入れることによって新しい味ができたのです。オリジナルカクテルというのは何でもいから混ぜればできるというものではありません。スタンダード

ドという基本的なもののつくり方や味、その黄金比率の中に1つ、2つとパーツが組み込まれてオリジナルカクテルが出来ていきます。今回の舞台がそうです。それがどれだけ新しく見えるのか、または古典にみえるのか、それはお客様が評価することです。

お客様には是非、ワクワクしながら来て欲しいと思います。食べるものでも最初に見たとき、「わー、おいしそう」と思えばよりおいしく召し上がれます。それが疑いながら食べると「おいしいけど、ちょっと…」と言う評価になってしまいます。だからまだ観る舞台に「おいしそう」と思いながら来ていただくのは難しいと思いますが「おもしろそう」とワクワクしながら来て頂き、存分に楽しんで欲しいな、と思うのです。古典は言葉がわからない、難しいというイメージがありますが、私たちの国の、たった818年前の話なんです。食わず嫌いはしないで下さい。飲み込んだら味はわかりません。噛まない。わからなかったらわかるまで観て欲しい。

彼らはまだ若いのです。でも20代、30代の若い彼らがどのような思いでやっているかを見に来てほしいと思います。役者には段階があります。その段階を見て欲しい。今が旬です。旬の時代を見ておいてください。プリになってから食べてもツバスやハマチのおいしさはわかりませんから。

旬の人たちが春秋座で全く新しいものをつくる。今ここでしか見れないものになると思います。

ミュージカル・アテルイ レポート

舞台芸術学科3年生 積山 愛子



自分の席に座った時、私はどうしようもない居心地の悪さを感じました。その原因は、二階席の両端にデンと置かれた数個の太鼓が目に入ったからです。すみません、私は太鼓の音が異様に苦手なんです。中学生の頃行ったライブで、これでもか!というほど、太鼓とドラムの音を聞かされて以来、間近で太鼓の音を聞くと気分がわるくなってしまうという「太鼓恐怖症」なのです。これは困りました。しかもわたしの席は二階席の端なのです。太鼓と私の距離は2mほどしか離れていません。ちょっと逃げ腰で開演を迎える事になりました。しかし、いざ太鼓が鳴ってみると、なんと、始めのほうは大きな音にビクビクしたりしましたが、話が続くにつれてだんだんと太鼓ではなく、物語に集中することができたのです。太鼓の音は、主に戦いの場面で鳴らされていましたが、それが私には好都合だったようで、戦いの緊張感を感じ、舞台をよりリアルに想像することが出来たのです。

また「アテルイ」が、日本を舞台にした話だったという点からも、太鼓を素直に聞けた一つの要因だったのではないかと感じました。ミュージカルはアメリカの輸入された文化です。ですから、私が過去観てきたミュージカルも外国が舞台だったり、純和風の内容でもなぜか背後に外国の空気を感じたりしていました。ですが、「アテルイ」の戦いの場面からは、独特の日本臭さを感じたのです。土の匂いというか、蟹殻の文化の匂いが確かにしたのです。太鼓という、日本の文化に根付いた楽器が、音が「アテルイ」というミュージカルに流れたからこそ、こんな印象を受けたのだと感じました。

そしてもう一つ「アテルイ」を楽しめた理由は、きっと、ミュージカルとしての魅力を感じたからだだと思います。歌の迫力、確かなダンステクニックなどです。しかし、同時に私は「アテルイ」というお話を理解できていない自分に気がきました。「アテルイ」自体、あまり有名ではなく、私もこのミュージカルを観るまではどのような話なのか知らないまま、公演の日を迎えました。大まかな物語は理解できたのですが、感情移入できるほど理解することはできず、すでにかなり理解した人の目線で描かれた話だな。という思いが拭きませんでした。どうしても、感動を誘う歌や、台詞で肝心の身を、オペラートに包んでしまったという感じがするのです。

ミュージカルは、歌や、踊りもあり、それだけで楽しめちゃう素晴らしい舞台だと思います。「アテルイ」も素晴らしいダンス、感動した歌が多くありました。しかし、それだけで終わってしまうほど悲しいことはありません。舞台を目指す学生として、ミュージカルにとってダンスや歌とは、そして物語とは、と、考えさせられる舞台でした。

頑張る学生アルバイト くもぎり編

美術・工芸学科4年生 内田 真紀子

私がアルバイトとして働き始めて、もう3年目になりました。最初は柿落としの観客として、観る側の立場だったのに、いつの間にか逆の立場のお客様を迎えるスタッフとして働く事になるとは思ってもいませんでした。春秋座のアルバイトは色々な学科の人たちと友達になれるだけでなく、公演ごとに本当に色々な人たちとの出会いがあり、毎回本当に勉強になります。

私は特に「くもぎり」という仕事をよくしています。くもぎりとは、春秋座の入り口でお客様のチケットを切ったり、終演後お客様を送り出したりする仕事です。最初の頃は案内の仕事もしていたのですが、最近はこの仕事が一番好きです。くもぎりの良い所は、春秋座にいらしゃったお客様全員と会えるところだと思います。毎回来てくださるお客様や、一声掛けてくれるお客様、終わった後「良かったよ」といって笑顔で帰られるお客様、本当に色々なお客様がいらしゃいます。なるべく一人一人きちんと顔を見て対応しようと心掛けていますが、忙しい時などはスムーズにチケットを切る事が精一杯になってしまいます。そんな時に声を掛けて頂いたりすると、本当に嬉しくてもっと頑張らないと、と思います。

また、個人的な事なのですが、くもぎりのもう一つの楽しみはお客様の格好です。私は好きでよく着物を着るのですが、春秋座は場所柄や、公演も伝統芸能が多いので着物でいらしゃるお客様が意外と多いのです。お客様の季節ごとの着こなしは見ていてとてもステキだし、勉強になります。

普段学内ではあまり会えない友達と一緒に仕事をしたり、着こなしを勉強したりと春秋座は本当に楽しみながら色々な事を学べる場所だと思います。まだまだ勉強する事も一杯あると思うのでこれからも積極的に春秋座と関わっていきたくです。



舞台の素 ～たっぱ(立端)・まぐち(間口)～

春秋座スタッフ 中山 彩



「搬入口扉のタッパとマグチを教えてください。」  
という学生が事務所にきた。「たっぱ?まぐち?一体何?」と思い聞いてみると何てことはい高さや幅でした。ちなみに春秋座の搬入口扉の立端は約4m間口は約5m。これだけ大きな扉があれば、10トンというトラックの荷物の出入りもスムーズにいきます。「搬入口も大きいし舞台裏も広いから、道具を搬入しやすい」と大道具さんのうれしい一言。他にも、作業しやすい工夫の詰まった、春秋座です。



春秋座搬入口 →



訂正がございます。

・〈スケジュールピックアップ〉

10月19日（日）「人形浄瑠璃文楽 京都公演」

夜の部 17:00 開演 → 夜の部 17:30 開演

・〈春秋座 2003年5月～10月公演予定表〉

8月24日（日）有馬龍子バレエ団「ジゼル」全幕

A席（指定席）5,000円 B席（自由席）4,000円 → 友の会割引がございます。（A席 4,500円 B席 3,600円）

お求めの方は劇場企画運営室までお問合せください。

9月4日（木）5日（金）6日（土）「歌舞劇—OKUNI—」

一般 8,000円（7,200円） → 一般 8,400円（税込） 友の会 7,560円（税込）